



ブランド情報発信サイト
ハイクオリティやまなし



HIGH QUALITY
YAMANASHI

次世代を担うDX人材を輩出する全国初のエコシステム！

～現代の企業社会が直面する“DX人材の不足”という課題解消を目指して～

DX人材

情報通信技術（ICT）や最先端のデジタル技術を活用して企業活動や世の中の仕組みをより便利に、より効率的にすることで豊かな社会を実現する「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」は、日本のみならず世界規模で進んでいる大きな変革です。特に日本では、少子高齢化の進行により今後労働人口の更なる減少は避けられず、DXの推進は持続可能な社会を担保する上で重要なテーマとなっています。例えば、ドローンを活用した物流ネットワークの効率化、AIを活用したサービスの実現、IoTを活用した農業の生産性向上など、DXによって生み出される可能性は無限にあり、今後の社会課題解決にはDX推進の取り組みが大きく貢献していくと考えられます。

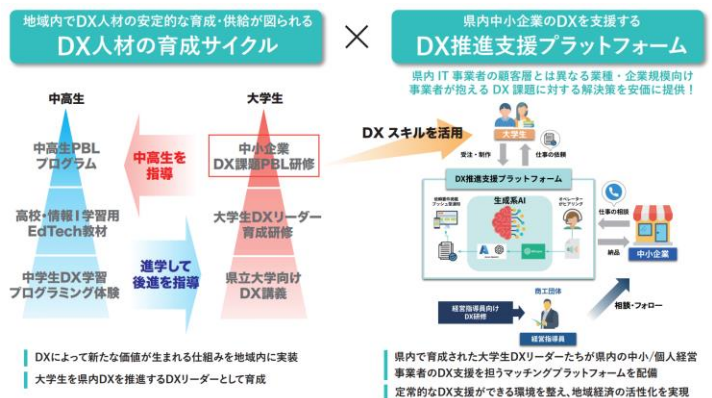
しかし実際のところ、残念ながら日本においてDX推進の担い手として活躍できるDX人材は圧倒的に不足していると言われています。総務省がまとめた令和6年度版情報通信白書によると、企業が「デジタル化に関して現在認識している、もしくは今後想定される課題や障壁」として、日本企業の回答割合は「人材不足」が42.1%と高く、米国の20.4%、ドイツの27.2%、中国の26.9%と他国企業と比較しても突出しており、今後日本がDXを推進する上で人材不足の解消は他のどの課題よりも重要度・緊急度の高い課題であることがわかります。

こうした課題に対応すべく、山梨県では中学生・高校生の段階からデジタル技術を学び、DX人材の不足に悩む中小企業などのDX推進支援ができる人材の育成を目的とした、全国で初となるエコシステムの創出を進めています。

この「山梨県DX人材育成エコシステム創出事業」では、中学・高校でデジタル技術を学んだ生徒が大学に進学して専門的な知識を学ぶことでDXの推進に必要なデジタルスキルを磨きながら、「大学生DXリーダー」として県内の中高生を対象にデジタル技術の指導を行い“次のDXリーダー”となる人材を育成。また、県内の商工・経済団体とも協力し、中小企業のDX推進に関する様々な課題解決にも貢献していきます*。このように、様々な経験を積んだ大学生DXリーダーは、就職を経て世界をも視野に入れ、より広いフィールドで活躍するDX人材として羽ばたいていくことが期待されています。

県内でDX人材を安定的に育成し、地域企業のDX推進、そして全国的なDX人材不足という課題解消に貢献できる全国初のエコシステムに、ぜひご注目ください。

◆DX人材育成エコシステム 創出事業について



*中小企業を対象としたDX推進支援プラットフォームの運用開始は令和7年2月中旬頃を予定しています



大学生DXリーダー
育成研修の様子

【主担当課】山梨県DX・情報政策推進統括官 DX推進担当 (TEL 055-223-1720)

【発行】山梨県地域ブランド推進CFT (クロス・ファンクショナル・チーム ※)

(事務局) 山梨県知事政策局地域ブランド推進グループ TEL 055-223-1584

※ 組織の枠を超えた部局横断チームを編成し、相乗効果や新たな価値を生み出すブランドプロモーションに取り組んでいます

ブランド情報発信サイト
ハイクオリティやまなしHIGH QUALITY
YAMANASHI子育て
支援

自然と触れ合い未来を担う子どもたちの「生きる力」を育む

～令和6年度に「自然保育サポート事業」参加団体数が100を突破！～

世の中のデジタル化・グローバル化が進み、予測不能な社会を生き抜かなければならない「VUCA」の時代。これから社会に出て活躍する子どもたちには、どのような能力が求められるのでしょうか。例えば、知識や経験を活かして新しい価値を創造できる力、挑戦を続けながら変化していく社会に合わせて課題を見つけて自らの力で解決していくことができる力、様々な価値観を受け入れてコミュニケーションを生み出していける力、主体的・能動的に行動し自らを発信していくことができる力…。教科書だけでは学ぶことのできない、社会生活を送るうえで大切な「生きる力」が必要なのではないでしょうか。

山梨県甲府市・愛宕山を中心に、夢見山、大笠山と連なる尾根の南斜面41.9haの自然環境を生かした施設「山梨県立愛宕山こどもの国」では、自然と触れ合いながら子どもたちの「生きる力」を育むことを目的として「自然保育サポート事業」を展開しています。

昭和46年に開園し、自然の樹木に囲まれた子どもたちの遊びの場として、県民いこいの場として親しまれてきた山梨県立愛宕山こどもの国は、令和3年の開園50周年を機に大規模な改修工事を進め、令和5年にリニューアルオープンしました。自然保育サポート事業では、リニューアルされた園の豊かな自然環境を活かして、未就学児を対象に五感を刺激する様々な体験プログラムを実施。プログラムを通じて「人と上手に関わる力」「目標に向かって頑張る力」「感情をコントロールする力」など、社会で生きていくための大切な資質を育む支援を行っています。

用意している体験プログラムは、たんけんルーベを持って森の中にあるさまざまな色を探しに行く「森の色合わせ」、木の実や鳥の羽といった森の中にある宝物を見つける「森の宝探し」など、季節の移ろいを感じながら子どもたちの好奇心や探究心を刺激する楽しいものばかりです。

令和2年度から行っている自然保育サポート事業では、これまでに保育園・幼稚園などを中心に109団体・4,488人の子どもたちが参加しました。自然保育サポート事業は年間を通じて行っており、山梨県立愛宕山こどもの国で随時予約の受付を行っています。



インクルーシブ遊具

*多様な子どもたちが遊ぶことのできる遊具

◆山梨県立愛宕山こどもの国

【担当当課】山梨県子育て支援局子育て政策課 (TEL 055-223-1456)
公益財団法人山梨県青少年協会 山梨県立愛宕山こどもの国
(TEL 055-253-5933)

【発行】山梨県地域ブランド推進CFT (クロス・ファンクショナル・チーム ※)

(事務局) 山梨県知事政策局地域ブランド推進グループ TEL 055-223-1584

※ 組織の枠を超えた部局横断チームを編成し、相乗効果や新たな価値を生み出すブランドプロモーションに取り組んでいます